

がつにじゅうよっ か にち ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
1月24日から30日は全国学校給食週間です

学校給食の歴史の巻

がっこうきゅうしょく れきし めいじ ねん やまがたけんつるおかし ちゅうあいしょうがっこう べんどう も
学校給食の歴史は、明治22年、山形県鶴岡市の忠愛小学校で、お弁当を持つてくること
できない児童を対象に、昼食（おにぎり・焼き魚・漬け物）を出したのが始まりです。その
ご きゅうしょく ぜんこく ひろ だいにじせかいたいせん きゅうしょく ちゅうし た
後、給食は全国に広がりましたが、第二次世界大戦により給食は中止となり、食べるもの
が不足したため、たくさんの子供たちが苦しみました。戦後も食糧難は続き、子供の栄養不足
が心配されました。「ララ（アジア救済団体）」から脱脂粉乳が寄贈されると、昭和21（1946）
ねん がつにじゅうよっか とうきょう かながわ ちば がっこうきゅうしょく ふたは はじ ひ きゅうしょくまねんび
年12月24日から東京、神奈川、千葉で学校給食が再び始まり、この日が給食記念日
となりました。ただし12月24日が冬休みに入るため、1カ月後の1月24日からの1
しゅうかん ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん こども しょくせいかつ と ま かんきょう おお
週間を「全国学校給食週間」としたのです。子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく
へんか かつた えいようせつしゅ ひまん げねん ちんたい み こんにち がっこうきゅうしょく こども
変化し、偏った栄養摂取、肥満など懸念される問題も見られる今日、「学校給食」は子供た
ちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健康的で心豊
な食生活を送るために、とても重要な役割を果たしています。



つるおかし てら だいとくじ
鶴岡市のお寺「大督寺」

ちゅうあいしょうがっこう だいとくじ けいだい てら ぼう いっけんいっけん きょう
忠愛小学校は、大督寺の境内にありました。このお寺のお坊さんが、一軒一軒お経
を唱えながら民家を回り、お米やお金をいただき、弁当を持ってこれない子供たちに
ちゅうしょく つく げんざい じゅうしょく はなし とうじ ちゅうしょく せきな かわざかな
昼食を作りました。現在の住職の話によると、その当時の昼食の魚は、川魚が
しゅうりゅう
主流だったそうです。

みなさんに学校給食について改めて考えてもらうために、給食週間の
期間は様々な献立を出します。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 24日(火) 麻里布中1年1組が考えた献立 | 27日(金) 熊本県の郷土料理 |
| 25日(水) ベルギーの料理 | 30日(月) 岩国中1年4組が考えた献立 |
| 26日(木) 山口県、岩国市の料理 | |



がつ きゅうしょく しょくいくもくひょう
1月 給食・食育目標



かんしゃ た
◎ 感謝して食べよう

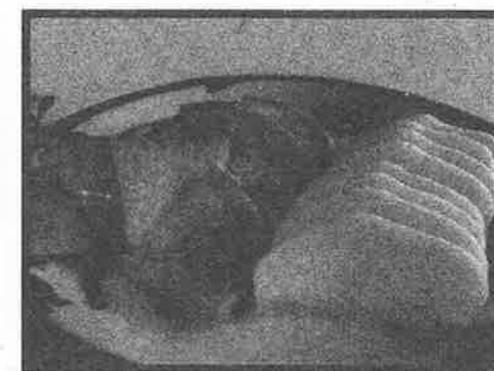
いわくに でんとうしょくざい た
岩国の伝統食材を食べよう！

がつ にち いわくにあかだいこん あまず づ つか あまず あ で つけもの いわくに
1月26日に、岩国赤大根の甘酢漬けを使った甘酢和えが出ます。この漬物は、岩国
にほんこらい でんとうぎじゅつ たいせつ まち にゅうさんはっこうほう う まれる しぜん ふうみ
で日本古来の伝統技術を大切に守り、乳酸発酵法から生まれる自然の風味とコクを
さいだいげん い ほんかくつけもの つく つけもの いわくにしゅうしん
最大限に生かした本格漬物を作られている「うまもん」の漬物です。岩国出身の
さっか うの ちよ まいあさか つけもの た 食べたい そうで、うまもん おとす つけもの
作家・宇野千代さんは毎朝欠かさず漬物食べていたそうで、うまもんを訪れ「漬物
が旨ければ一日が幸福です」という直筆のサインを残されたそうです。

むかし う 受け継がれてきた技術で作られた、伝統野菜のお漬物です。おいしくいた
だきましょう！



せいぞう もち にしがわ みず
製造に用いる錦川の水



いわくにあかだいこん つけもの
岩国赤大根の漬物

きゅうしょく し
給食センターからのお知らせ

がっき ようび か
3学期からパンの曜日が変わります。

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| がっきまで | げつ すい | げつよう つき かいべいはん へんこう |
| 2学期まで | 月・水パン | (ただし月曜は月2回米飯に変更) |
| 3学期 | 火・水パン | (ただし、火曜のうち米飯の日も有り) |

れいわ ねんど
令和5年度からのことは改めてお知らせします。